

来場者および関係者各位

2014年3月12日  
浦安ドキュメンタリーオフィス

第3回うらやすドキュメンタリー映画祭での  
『ガレキとラジオ』の上映について

2014年3月5日付で、ドキュメンタリー映画『ガレキとラジオ』の製作過程で一部にいわゆる「やらせ」があったとの報道を受け、当方主催の映画祭で上映予定としていた本作の上映について対応を検討しておりましたが、当初の予定通り上映することといたしました。

その理由としては、以下の通りです。

- ・現地FMラジオ局の存在自体は事実であり、被災地である浦安で、今後も震災を忘れずに考えていく上でも、彼らの活動を否定されるような印象を与えることはしたくない。
- ・問題があったから中止にするという一律の対応を講じるのではなく、今回のことを通じてドキュメンタリー映画の「演出」や震災後に行われたことについて、来場者や映画関係者にもあらためて考えていただく機会にしたい。

ただし、上映に際しては、製作元の意向に加え、当方で上映する責任を果たす上で、今回の経緯についての製作元および主催者からのコメントを配布し、上映前に口頭でも主旨をご説明させていただくとともに、無料上映とさせていただきます。

来場者、関係者のみなさまにおかれましては、何とぞご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

浦安ドキュメンタリーオフィス  
代表 中山 和郎